

「みんなで自分崩し！～ブログナイト」

今夜のブログナイトでは、「まずは自分崩しからPARTⅡ」をみんなでシェアしました。ブログの朗読後、さーさんは以下のようなコメントをしてくれました。それに対してメンバーからもいくつかコメントがありましたのでご紹介します。

さーさん：

このブログを読めば読むほど、いさどんは何て素晴らしい回答を出してくれたのだろうと思っています。見ず知らずの私にこんなに時間をかけて話してくれて、本当に感謝しています。

最初の面談で、「自分ではどうすることも出来ないんだ」ということがわかり、ここに委ねようと思ってやってきました。ここを再び訪れてから最初の1週間は特に何も言われなかったのも、楽しく子どもたちと過ごしていただけなのですが、何も言われなくても自分のやっていることが間違っているのではないかとどこかで感じていました。

1週間経っていさどんと面談する機会があり、本当にびっくりするほど自分が正しいと思っていたことがそうではなかったのだ、ということに気づかされました。自分がもっともなりたくないと思っていた人に自分がなっていたことに気がついて、正直言って茫然自失しました。子育てについてもそうで、私が子どものためだと思ってやってきたことが、実は全然子どものためになっていなかったのだと知り、子どもに本当に申し訳なかったと思っています。自分が間違ったことをやっていたということをお話してもらうことが今までなかったので、こんなにありがたいことはありません。いさどんはとても丁寧にお話ししてくれたのですが、私はなかなかそれを理解することが出来ませんでした。大事なことを言ってくれているとは思いますが、なかなか理解出来ない自分がいて歯がゆい気持ちでいっぱいでした。でも、私にやる気があるのならとことん付き合ってくれてと言ってくれたので、そこでまた申し訳ないなと思いつつも嬉しく思っています。よくわからないことだらけですが、言われた通りにやっていこうと今は思っています。

私は色々な本を読んだ結果、自分で考え合わせた正しい答えを実践しているつもりでしたが、それがすごく辛かったです。その辛さこそが子どものためになると思って今まで頑張ってきたのですが、それが全然違っていたということがわかって、恥ずかしい限りです。いさどんが「ここは湯治場みたいに人を癒すところだ」と言ってくれたのですが、本当にそうだと思います。私は疑い深く人を信じられないところがあるのですが、ここにいる方たちは本当に誠実で、厳しいことを言っているような時もあるけれど、本当に相手のことを想って言ってくれているのがよくわかります。今すぐ心を開くことはなかなか難しいのですが、今までずっと開けてこなかった心を開いていきたいと思っています。

私が信じたかった世界がここにありました。私はある宗教団体を追い出されたことがあるの

ですが、それくらい私は頭が固くてどうしようもありませんでした。今までずっと見捨てられるのが怖いと思って生きてきましたが、そういった恐怖をこの素晴らしい環境で癒していきたいと思っています。他人の顔色ばかり見てびくびくしていた私ですが、今は子育てチームにいて、あっちゃんもとても的確で優しいアドバイスをしてくれて、みんな信じられる方たちばかりなので、そういう毎日の中で私の心も癒されてきているように感じています。

本当に頭が固くて何度言われてもわからない私なのですが、努力していきたいと思っています。みなさんも何か感じることはありませんか、その時には教えてください。よろしくお願いします。

いさどん：

彼女のように熱心であるがゆえに色々なことを求めている、沢山求めた結果それが自分を救済、解放するどころか混乱におとしられているという事例は本当に沢山あるのです。しかし、彼女のようにホルマリン漬けにして取っておきたいような典型的な事例はなかなかないものですから（笑）、僕は良い事例に出会ったと思って面談を楽しんでいました。非常に優秀である彼女からは人間の持っているエネルギーの強さや情熱を感じましたが、どんなにエネルギーが強くても、それが自分や社会にとって有益な形で返ってくるように使うことが大切だという事例です。

さのっち：

僕にとっても大変勉強になりました！ありがとうございました！

いさどん：

さーさんには短期間で時間をかけましたが、さのっちには長期間にわたってその都度時間をかけて伝えてきました。これくらいわからない人もなかなかいないという優秀な大学の先生です（笑）。

たっちゃん：

「信じていないから自分で色々やってしまう。信じていないから委ねられない」というのは自分自身もそうだなと思いました。僕もあれやこれやと自分で試すのですが、ベースが信じるというところではなくて不安からスタートしていると、ボタンがどんどん掛け違っていてしまって、余計な手間と時間がかかると感じています。まずは信じるというベースがあることが大切だな、と自分自身を振り返ってみてそう思いました。

ようこ：

今、エリーは東京出張中でここにいないのですが、エリーもさーさんといさどんとの面談に同席していました。この面談の直後私のところに来て、「今日の面談は最高だったね。いさどんが彼女だけではなくて私の心も崩していたのがよくわかったわ（笑）」と話してくれま

した。さのっちやたっちゃんが自分の役に立ったと言っていたように、このブログを読んで自分の心にも当てはまると思った人は沢山いるのではないのでしょうか。これからも、相談される方のためにもみんなの学びのためにも、ブログづくりに精進していきたいと思います。

まっちゃん：

僕たちも一緒に学ばせてもらっているなと思っています。他人の人生が自分の人生のようで、まさにここの醍醐味だと思っています。

かずこちゃん：

最初は固かったさーさんの心が崩れてだんだんやわらかくなってきて、「いただく」ことを学んでいく過程が見えて嬉しく思っています。まずは自分から変わっていくことが大事なのだ改めて感じました。

まり姉：

さーさんは「間違った教育をしてきて子どもに申し訳ない」と言いましたが、間違った教育ということもないし、それはさーさんとそうくんのお互いの関係性だから、それを引き寄せるそうくんでもあったのだと思います。子離れについても離さない親と離れない子どもという関係があるのだから、お互いに原因があるし、それは旦那さんとの関係についても同じことだと思います。しかし、まずは自分が健全になるということを考えれば、相手のことは置いておいて、自分のことを見ていけばいいのだと思います。

たっちゃん：

沢山の本を読んで教育法をかじっている人でこういうパターンの人は多いと思うので、すごく良い事例だと思います。面談の中でいさどんが彼女の心のもつれをほぐして行って、それが解けていく過程を見るのはとても勉強になりました。彼女は子どもにイニシアチブを預けているのですが、ここでは基本的に大人がイニシアチブを取りながら子どもにしっかりとけじめをつけさせています。その時に僕が思ったのは、教育論以前に子どもと接する大人の心の状態がどうあるのかということがすごく大切で、大人のけじめがついていれば子どもも自然とけじめがつくのだと思います。ベースの精神性が一番大切だという点では、自分が委ねられる場所に出会えたことはすごくありがたいことだし、改めてここの価値に気づくことが出来ました。これから彼女がどう変化していくのかと思うと、単なる本を読むのではなく、生の実体験を通して学べる機会があるということは、僕らにとっても彼女にとってもそうくんにとっても良い機会だと思って嬉しいです。